

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミB	単位認定	1	齋藤 尚志
<p><b>【授業のテーマ及び到達目標】</b></p> <p>テーマ「豊かな教育・保育実践に学ぶ」。「ひとりはおみんなのために、みんなはひとりのために」。個と集団という二つの軸によって営まれているのが学校園です。先生は子どもたち一人ひとりを尊重しつつ、助け合いや支え合いができる子ども集団を育成します。このゼミでは、子どもたちの関係・集団づくりについて受講生各自の課題意識に応じた教育・保育の文献を読んで、参加者同士で意見交換をしながら学んでいきます。そして、受講生各自の課題・テーマに沿って、さらなる文献調査・実地調査を行い、レポートにまとめます。</p>			
<p><b>【授業の概要】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義と意見交換（振り返り）、演習と意見交換（振り返り）、個別学習および発表と意見交換（振り返り）の三つの形式を適宜用いながら進めていきます。</li> <li>2. 何よりも一人ひとりの考え・発言・行動が基本です。</li> <li>3. 毎回、感想・意見を書き残す。</li> <li>4. 各自の課題・テーマに基づいて文献調査・実地調査を行い、レポート（2,000字以上）にまとめる。</li> </ol>			
<p><b>【全体の授業計画・内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. ～4. 課題・テーマの設定と意見交換</li> <li>5. ～6. 課題・テーマの発表</li> <li>7. ～9. 文献調査および結果報告</li> <li>10. ～12. 実地調査および結果報告</li> <li>13. ～14. 個別指導</li> <li>15. まとめ</li> </ol>			
<p><b>【準備学習の内容】</b></p> <p>予習のあり方: ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心を示し、幅広く情報を得ておくこと。児童館や子育て支援サークルなどの保育ボランティアなどたくさんの経験を積極的に積むこと。教育や子どものことなどについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本をなるべく多く読むこと。</p> <p>学習のあり方: 教育者・保育者は子どもの育ちに責任があるということ、教育者・保育者である自分の言動が子どもに対し善悪交々の多大なる影響を与えること、を自覚すること。その上で、子ども自身が育っていくことに自分がどのように関わっていくことができるのかを想定しながら、授業やグループワークに参加してください。</p> <p>復習のあり方: 授業内容についての疑問点を整理し、ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解いてみる。疑問や質問は授業中でも授業後でも必ずその時に解決する習慣をつけましょう。</p>			
<p><b>【成績評価】</b></p> <p>学習過程（30%）および学習成果（70%）で総合的に評価。すべて出席するのが原則。遅刻・欠席は「学習過程」としてマイナス評価します。健康管理や早めの行動を心がけてください。</p>			
<p><b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b></p> <p>最終授業で全体に対するフィードバックを行う。</p>			
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>レジュメおよび資料を配布する。</p>			

【参考文献】

授業中に適宜指示する。